

# 宮崎県感染症週報

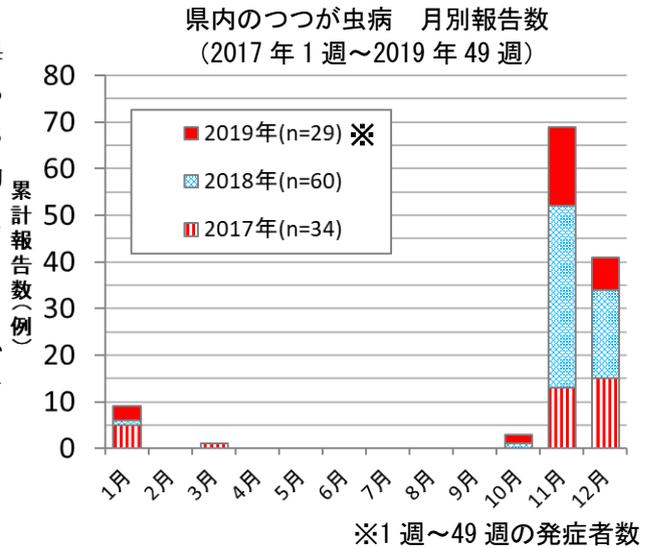
宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第49週の発生動向

### 口トピックス

・**つつが虫病** (全数把握対象疾患) の報告が宮崎市 (4例)、都城 (2例)、小林 (1例) 保健所管内からあり、県内での報告は今年累計 29 例となった。過去 3 年間に報告された患者の年齢別割合は 60 歳以上が約 8 割を占め、発生時期は 11 月をピークとして冬期に多い。

・**風しん** (全数把握対象疾患) の報告が 1 例あった。小林保健所管内からの報告で、30 歳代女性、ワクチン接種歴は不明である。



### □ 全数報告の感染症 (49週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 7 例。
- 5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、百日咳 3 例、風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
		日南	80歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
		高鍋	60歳代	女	肺結核	発熱
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	刺し口、発疹
			60歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			60歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肺炎
		都城	40歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			80歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口
		小林	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	80歳代	男	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、視覚異常、精神・知能障害、異常感覚
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、DIC、中枢神経症状等
	百日咳	都城	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタックカート
			30歳代	女	—	持続する咳、スタックカート
		延岡	40歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、白血球数増多
風しん	小林	30歳代	女	検査診断例	発熱、発疹、リンパ節腫脹、ワクチン接種歴：不明	

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は931人(定点当たり22.8)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【インフルエンザ】

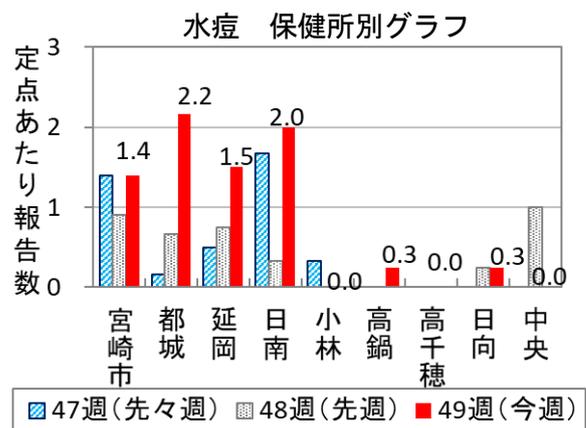
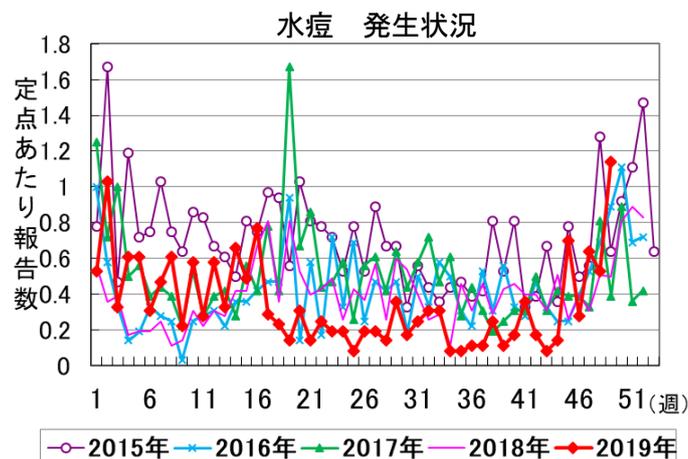
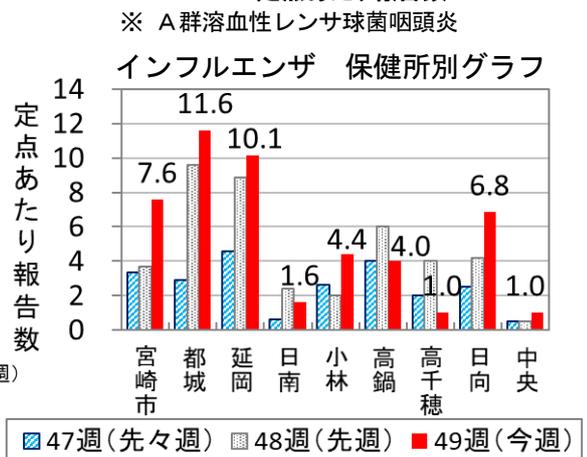
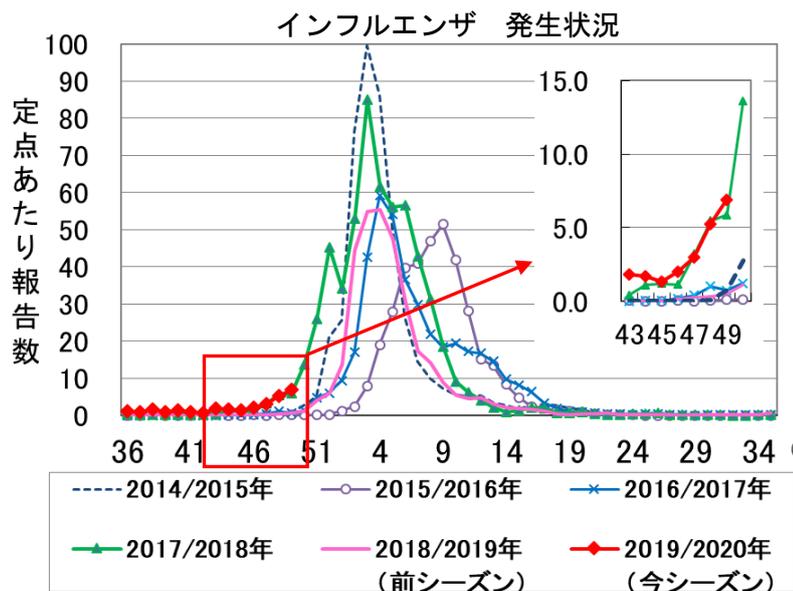
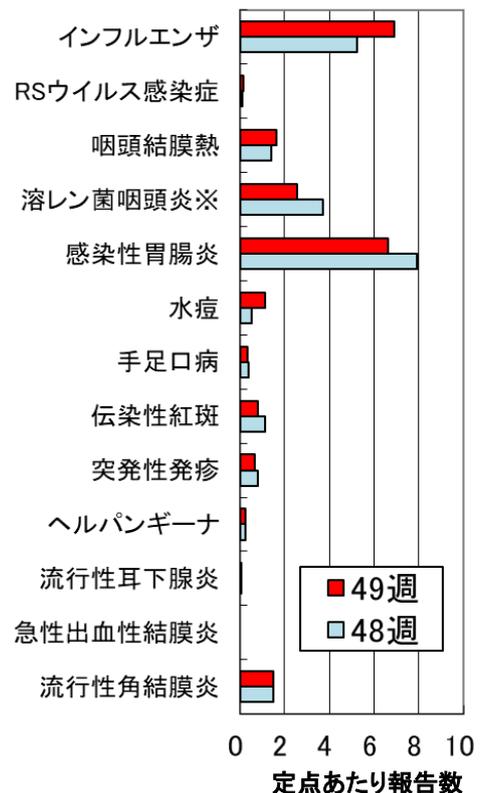
報告数は407人(6.9)で、前週比132%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(2.3)の約3.1倍である。都城(11.6)、延岡(10.1)、宮崎市(7.6)保健所からの報告が多く、年齢群別では5~9歳が全体の約半数を占めた。

#### 【水痘】

報告数は41人(1.1)で、前週比215%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.96)の約1.2倍である。都城(2.2)、日南(2.0)、延岡(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では4~6歳が全体の約6割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

### 《前週との比較》



★基幹定点からの報告★

○クラミジア肺炎：都城保健所管内で1例報告された。

70歳代で病原体は *Chlamydomphila pneumoniae* であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	水痘(1.4)
都城	インフルエンザ(11.6)、 咽頭結膜熱(3.8)、水痘(2.2)、 伝染性紅斑(2.3)
延岡	インフルエンザ(10.1)、水痘(1.5)
日南	水痘(2.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	咽頭結膜熱(4.0)
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値\*

・咽頭結膜熱(3.0)

・水痘(2.0)

・伝染性紅斑(2.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

・インフルエンザ(10.0)

・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 48 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	347 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	47 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	39 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	5 例	日本脳炎	1 例	Bウイルス病	1 例
	レジオネラ症	35 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	35 例
	急性弛緩性麻痺	3 例	急性脳炎	22 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	54 例	水痘（入院例）	10 例	梅毒	81 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	223 例	風しん	8 例	麻しん	3 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 129%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 27,393 人(5.5)で前週比 177%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(1.7)の約 3.2 倍である。北海道(16.8)、青森県(15.5)、石川県(10.5)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 6 割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は 16,926 人(5.3)で前週比 124%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(9.3)の約 0.6 倍である。熊本県(13.5)、大分県(9.6)、群馬県、島根県(各 9.0)からの報告が多く、年齢群別では 1~4 歳が全体の約半数を占めている。 \* 過去 5 年間の当該週、前週後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第49週(12月02日～12月08日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	309	407	121	116	71	8	22	24	2	41	2
	定点当り	5.24	6.90	7.56	11.60	10.14	1.60	4.40	4.00	1.00	6.83	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	4	6	1	2		1				1	1
	定点当り	0.11	0.17	0.10	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	50	59	23	23	1	3	2	2	4	1	
	定点当り	1.39	1.64	2.30	3.83	0.25	1.00	0.67	0.50	4.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	134	92	28	24	8	19	4	2		5	2
	定点当り	3.72	2.56	2.80	4.00	2.00	6.33	1.33	0.50	0.00	1.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	285	239	33	85	15	23	26	12	3	37	5
	定点当り	7.92	6.64	3.30	14.17	3.75	7.67	8.67	3.00	3.00	9.25	5.00
水痘	報告数	19	41	14	13	6	6		1		1	
	定点当り	0.53	1.14	1.40	2.17	1.50	2.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	14	12	4	1	7						
	定点当り	0.39	0.33	0.40	0.17	1.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	40	29	8	14	3		1	1		2	
	定点当り	1.11	0.81	0.80	2.33	0.75	0.00	0.33	0.25	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	29	24	13	2	4		2	2		1	
	定点当り	0.81	0.67	1.30	0.33	1.00	0.00	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	9	4		2		2			1	
	定点当り	0.25	0.25	0.40	0.00	0.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3	1	1						1	
	定点当り	0.03	0.08	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	9	4	5							
	定点当り	1.50	1.50	1.33	2.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	3										
	定点当り	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～49週)

2類感染症	結核	187例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例	腸チフス	1例	
	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	
4類感染症	チクングニア熱	1例	つつが虫病	29例(7)	
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	8例	
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	4例	
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11例(1)	
	侵襲性インフルエンザ菌感染	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	
	梅毒	20例	播種性クリプトコックス症	2例	
百日咳	302例(3)	風しん	2例(1)	麻しん	1例
				カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13例
				クリプトスポリジウム症	1例
				後天性免疫不全症候群	5例
				水痘(入院例)	1例
				破傷風	2例

( )内は今週届出分、再掲